

日仏会館創立100周年記念

渋沢栄一と日仏会館

国際平和への夢



日仏会館は「日本資本主義の父」渋沢栄一と「詩人大使」ポール・クローデルによって、関東大震災の翌1924年に創立されました。しかし会館創立百周年を迎える来年春、新一万円札の顔になる渋沢が、日仏会館の創立と運営にどのように関わったかについてはあまり知られていません。渋沢は第一次大戦後の1920年、日本国際連盟協会を設立してその会長に就任し、米国西海岸で日系移民排斥運動が高まるなか、1921年11月ワシントン軍縮会議にオブザーバーとして参加し大統領以下要人と会談するなど、民間人として国際平和や国際親善に尽くしますが、満州事変が勃発する1931年の11月11日に91歳で亡くなります。本講演では、こうした渋沢の幅広い民間外交活動の文脈の中で、日仏会館の創立と運営に彼が果たした役割を振り返ります。

2023年5月29日(月) 18:30-20:00

日仏会館ホール (東京都渋谷区恵比寿3-9-25)

参加費：一般1,000円 日仏会館会員・学生 無料

講師 **三浦信孝** 中央大学名誉教授、(公財)日仏会館顧問

司会 **中地義和** 東京大学名誉教授、(公財)日仏会館副理事長

三浦 信孝

1945年盛岡市生まれ、東京大学教養学科卒、同大学院仏文科博士課程満期退学、中央大学文学部教授を経て2015年に名誉教授、日仏会館常務理事、副理事長を経て2020年から日仏会館顧問。フランス政府芸術文化勲章。専門はフランス文学・思想。近著に『加藤周一を21世紀に引き継ぐために』（共編、水声社）、『作家たちのフランス革命』（編著、白水社）、『ルソーの戦争／平和論』（共訳、勁草書房）、M.ワツセルマン『ポール・クローデルの聖櫃』（共訳、水声社）などがある。

※定員100名。事前にオンラインでの参加登録をお願いいたします。



詳細・参加登録

Peatix公益財団法人日仏会館ページ

<https://fmfj-20230529.peatix.com/>